

四国学院同窓会会長挨拶



会長 牧本 憲尚
 (1977年度社会福祉学科卒業)

皆様、日頃は同窓会活動に温かいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。
 ざいます。

この度、2012年2月同窓会役員総会において、引き続き会長をとのことで、力不足を感じながらも引き受けさせていただいた次第です。同窓生も20,000人を超え、今後も大学との連携と協力が益々必要となってくると思われれます。

二期目になり十分なことができませんが、微力ながらも全力で頑張っていきたいと思っています。事を成すにはなんと言っても「仲間と絆」が必要です。今回の役員改選にて若い新しい仲間も加わっています。まずは、同窓会の各地区支部会への積極的参加を考えていただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、今後のご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご活躍を心から祈念いたしております。

■ 四国学院同窓会新役員

	氏名	卒業年度	学科
会長	牧本憲尚	1977	社会福祉学科
副会長	山本宏	1977	人文学科
	清水幸一	1980	社会福祉学科
会計	大塚正樹	1984	人文学科
	山田祐一郎	1995	応用社会学科
書記	飛田由香	1983	英語科
	藤川珠美	1985	英文学科
監事	松田信一	1982	人文学科
	井下美保	1999	人文学科

■ 2012年度 主な事業計画

1.同窓生支援

- ①各支援制度の実施
 「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」
 「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」
- ②ホームカミングの支援

2.大学、在学生支援

- ①課外活動団体への支援
- ②大学の企画・プロジェクトへの協力・提携
- ③就職支援

3.その他事業・運営

- ①同窓会会報「ロゴスだより」の発刊
- ②ロゴス館(同窓会館)の運営

CONTENTS

2012年度支部総会のご案内

四国学院同窓会には、現在9つの支部会があります。2年に1度、各支部総会が開かれていますが、本年度開催は下記のとおりです。近隣県にお住まいの方、転勤先、たまたま開催日にお近くにいらっしゃる等、お気軽にご参加ください。詳しくは同窓会ホームページで確認してください。

愛媛県支部総会

- 開催日時 2012年8月11日(土)
受付14:30 記念講演会15:00 支部総会16:10 懇親会17:00~19:00
- 会場 「東京第一ホテル松山」 松山市南堀端町6-16 TEL.089-947-4411
- 懇親会会費 3,800円 ●返信締切 8月4日(土)

愛媛県支部総会 記念講演会のご案内

講師

清水 幸一 四国学院大学教授



プロフィール

1980年度四国学院大学社会福祉学科卒業後、大阪YMCAやシンガポールYMCAの社会教育や国際協力の現場で25年間働き、大阪体育大学大学院でスポーツ科学を専攻、2009年春、教員として母校に赴任。現在、総合教育研究センター、教授、宗教委員長、同窓会副会長。「神に愛され、人を生かす教育」を目指す。また、学生時代から続けているバドミントン、体育の授業では負けなしと自負。

入場無料 一般の方大歓迎

- 演題 『子どもの成長と遊び』
- 開催日時 2012年8月11日(土)
15:00~16:00
- 会場 『東京第一ホテル松山』
- 共催 四国学院大学

香川県支部総会

今回は、大学祭日に開催することと致しました。多種多様なイベントが開催されます。是非、この機会にご友人とホームカミングしてみませんか?詳しくは、会報7P、四国学院大学ホームページを御確認ください。

- 開催日時 2012年10月20日(土) 受付9:30 支部総会10:00~11:00
- 会場 四国学院大学内(当日のご案内となります) ●返信締切 10月10日(水)

関東支部総会

- 開催日時 2012年11月17日(土)
受付12:00 支部総会12:30 懇親会13:00~16:00
- 会場 「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」 千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-9921
- 懇親会会費 7,000円 ●返信締切 11月7日(水)

お問合せ・申込

関東支部長山田昭和 TEL.0463-21-9120//090-8442-6359 Email hharbor@d5.dion.ne.jp
もしくは以下の方法にて

大阪支部総会

- 開催日時 2012年10月6日(土)
受付11:00 支部総会11:30 懇親会12:00~14:00
- 会場 「メルパルク大阪」 大阪市淀川区宮東4-2-1 TEL.06-6350-2111
- 懇親会会費 4,000円 ●返信締切 9月25日(火)

広島県支部総会 徳島県支部総会

開催日が決定しましたら、四国学院同窓会ホームページにてお知らせしますので確認してください。

お問合せ・申込

- 「四国学院同窓会事務局」 ①同封のハガキ ②e-mail rogosu@sg-u.ac.jp
③0120-459-500(平日9:30~17:30) ④FAX:0877-63-4599

②e-mailとFaxの場合は、ハガキと同様、必要項目を入れて送信ください。受信後、受信確認の返信をします。連絡がない時は、お手数ですが、TELでご一報ください。
※ハガキは、支部総会出席届以外に住所変更届としてもご利用ください。

同窓会
開きますよ

1984年度社会福祉学科入学の皆様へ 池田謙二さん 1987年度社会福祉学科卒業
拝啓 1984年度入学四国学院大学文学部社会福祉学科の皆様の同窓会を平成24年11月24日(土)に予定しています。私たちが四国学院大学で出会って28年目を迎えています。そこで、各方面で活躍している仲間たちと旧交を温めるべく、有志による同窓会を開くこととなりました。讃岐の気候に触れて、若かりし頃を思い返し、今後の活力につなげてみてはいかがでしょうか。ぜひとも万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。池田までメールをいただけたら、詳細をご連絡いたします。 敬具
池田さんのアドレス tomonao.8427-1132@docomo.ne.jp

同窓生からのお便り

六車 るみ子さん 1982年度人文学科卒業

昭和57年度、人文学科卒業、旧姓「岩河るみ子」です。大学では、西洋史を学びながら、美術部とゴルフ部のマネージャーをしていました。

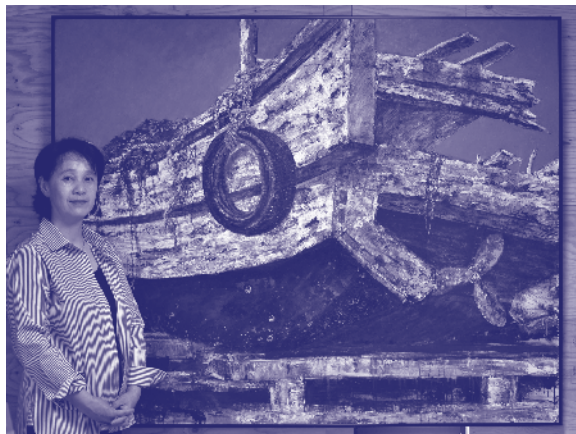
卒業後、すぐに結婚をして、家業のうどん店を手伝いながら、三人の娘達を育ててきました。三女が三歳になった頃、やっと少し自分の時間を取っても良いかなって思うようになり、高松の四国新聞主催の文化講座に油絵を習いに通い始めました。(当時、東かがわ市には夜習える油絵講座がありませんでした)もう、15年も前の事です。

何年か通っていると、講師の先生が香川短期大学の社会人講座で、もっと深く油絵の勉強をしないかと誘って下さいました。それから昨年まで11年間、週一回短大のある宇多津町に通いました。

通い始めた頃はまだ、高速道路も通じてなく、朝早くに仕事してお弁当を作って子供達を送り出し、1時間半かけて通い、3時間絵を描き、1時間半かけて帰ってきて、また仕事や家事をしていました。でも、好きなことをさせて貰っているの、通うことが苦になったことは、一度もありませんでした。習っていた先生の所属している「創元会」という絵の団体に、私も入り、毎年100号という大きな絵を「創元展」に出品するようになりました。そんな中で、最高峰の具象画の公募展である「日展」の存在が、身近になり始めました。たくさんの先生方に色々な批評を頂き、もまれながら、日展を目指しました。

そして、昨年4度目の応募で「日展」に入選することができました。主人を始め、家族の支えがあって、この「日展」という、私にとっては夢の舞台に立つことができました、それは、私だけでなく家族全員の喜

びとなりました。今年からは、大学をやっと卒業できたので、東かがわ市から、琴平にある先生のアトリエに通っています。子供も大きくなり、手もかからなくなったので、これからも、もっともっと仕事にも油絵にも、頑張っていこうと思っています。そして、二度三度と日展に通うような実力をつけられたら、絵を始めた事の答えが返ってくるような気がします。



洋画部門 入賞「寂寥(せきりょう)」

けっこう永い間この船を描いています。船が朽ち果てる様に人の生きていく様を重ねているのかも知れませんが、命を授かった時から滅び行く時に向かって日々を重ねていく事に胸が痛むこともあります。ただ、滅んで行ってるのではないんだよ...と過去の明るい時を刻んだつもりで船に綺麗な碧を入れました。心と船との対話の中から「寂寥」という題名になりました。

「35年ぶりに四国学院大学のキャンパスに足を入れて…」

住吉 淳夫さん 1977年度社会福祉学科卒業

先月の26日の午後、琴平からの仕事の帰りに立寄り、護国神社に車を止めて西門から大学のキャンパスに、久しぶりに足を入れました。私が在籍していた35年前とはちがって、きれいに整備され、多くの建物ができて、時代の流れを感じました。キャンパスの周りを歩いていると、昔の記憶がよみがえり、なつかしさと同時に学生時代の楽しかったこと悔しかったことなどさまざまな思い出に胸が詰まる思いでした。そして、学生時代の自分は一体何だったのか...改めて考えさせられました。

大学を出て、地元徳島へ戻り、農協組織の県下のまとめ役でもある徳島県経済連に就職し、米関係や農作業用品の担当部署に配属された7年後に、後に人生の分岐点にもなった、農協観光に向向の辞令があり、四国もまともに出たことのない私が、観光の仕事に従事することになりました。その10年後、農協観光が経済連からはなれて、株式会社になることになり、その時に従事していた経済連の職員は、私以外は経済連の他の部署に異動しましたが、私は、経済連を退職し農協観光に移籍しました。ここに至るまでの紆余曲折の話すれば長くなりますので控えますが、私にとっては、人生の決断でした。

それから後、徳島支店だけでなく高知支店で4年間在籍した後、地元徳島支店に戻り4年間勤め2年前に香川支店に配属になり、三木町・川東地区(塩江・香川町・香南)の営業担当として推進巡回していて、久しぶりに学生時代に知り合った仲間たちと出会うことになりました。

そして、旧交を深めていくうちに改めて人間関係の温か味を感じましたと同時に、私は、今まで色々な人たちと知り合い、助けられて、今日まで生きてこられたことを思い知らされています。

今思えば、徳島の池田高校から、社会福祉に将来の夢を持って、実家からいちばん近い四国学院に入学したが、当時の社会福祉の先生の言動に違和感を感じ、大学生活を充実していくには、一体何をすれば良いのか試行錯誤しながら、唯一高校時代から続けていた陸上競技を4年間頑張ってきたことが、学生時代の思い出です。部活動を通じて、色々な人と知り合いになれたことそして、その時のトレーニングのお陰で、今でも学生時代の身長・体重を維持できています。練習はうそをつかないという言葉が改めて感じました。

これから社会人となる後輩たちへ、社会へ出たら色々な人たちと付き合わなければいけないし、好むと好まざるに関わらず競争していかなければいけない。その中でいちばん大切なことは、信頼できる友をつくっておくこと。また、仕事場においても、社会においても、不平不満がどうしてもでてくる。どうしても我慢できなくてその不満を所かまわず言ってしまうこともあると思いますがその時は、自分はどうに改善したいか、自分自身の意見を最後に言わなければいけない。

世の中はある面、矛盾との戦いのようなものだから、物事を暗く考えたり自虐的な者は誰も相手にされなくなってくる。常に前向きな気持ちで物事に取り組み、充実した学生時代を過ごして下さい。そして将来、世間から信頼される立派な社会人になってください。

「四国六大学野球観戦記」 追林 照敏さん 1972年度人文学科卒業

連休の疲れもとれかけた先日、突然、F女史より「四国六大学野球大会の観戦記を書きなさい」との命あり。逆らえないので、おぼろげな記憶を辿りながら最終戦を顧みる。当日(5月5日)はまず地元の年中行事である『凧あげ合戦』(内子町五十崎)の予約を、あの手この手で取消すことから始まった。麦藁帽子や日焼け止めクリーム等応援グッズを準備し、『坊ちゃんスタジアム』めざし、いざ出発。小生、妻(73年人文卒)、娘の三人旅である。道中、“差し入れ”についてひと悶着。「あーだ」「こーだ」「スベッタ」「コベッタ」言っているうちに昼前、球場到着。試合開始は3時との事。腹ごしらえは当然“カツ”である。愛南町特産の“おいしいみかん”をチームに放り込み、3塁側スタンドに陣取る。試合前、漆原先生やマネージャーの方がお礼に来られる。恐縮、恐縮である。「スカウトが3~4名来ていますよ。きょうは必ず勝ちます。」との先生の力強い言葉に、さらに期待は膨らむ。試合結果は、7対1の快勝であった。わが家族の熱い応援があったからでもあろうと勝手に思っている。とにかく試合内容が実に良かった。“走・攻・守”三拍子揃っていた。失点は松山大四番打者の風になつたソロホームランのみである。次打者に繋げようとする根張り強い攻撃は印象深かった。また、エースの安定した140km/h超のピッチングは、かなりのものであった。8年前(2004年6月19日)のこの球場での天野浩一投手のナイスピッチを彷彿

させるものであった。試合終了後、晴れ晴れとした笑顔の選手達による胴上げシーンも印象に残る。小生が日頃の業務で心掛けていた『コンパクト&タイムリー』が、この日眼の前で、しかも後輩諸君が実践してくれている。うれしい限りである。来る全国大会での、初戦突破を強く予感させる最終戦であった。野球部のさらなる鍛錬と活躍を祈るばかりである。



5月5日 坊ちゃんスタジアム 四国六大学野球リーグ優勝
(6月12日 神宮球場 対広島経済大学 1対0で惜敗、ご声援ありがとうございました)

「たいせつな仲間にあーとう」 永井 歩子さん 2011年度言語文化学科卒業

私は四国学院大学で得たものは多くの仲間です。大学四年間で本当に多くの仲間を得ました。

私は今年の春から新社会人になりました。会社に入社したばかりで新しい環境の中、毎日慣れない仕事をし、日々社会人の仲間になれるよう頑張っています。具体的にどんなことをしているか少し紹介したいと思います。私はオリエンタルモーター株式会社に就職し、エリア採用で香川県の香西にある高松事業所で内定を頂き就職しました。オリエンタルモーターは精密小型モーターを製造しているモノ造りの会社です。入社し、入社式を本社がある東京で行いその後四日間、全国の同期と一緒に今後の仕事の進め方を身をもって学ぶ研修を行いました。それから香川県に戻り新社員研修を一ヶ月行いました。モーターがどの様にできているかと会社にはどんな人がいるか同期五人で研究し最終的には発表を行いました。そして配属先が決まり、現在は、配属された部署と関る部署で実習を行い自分の部署に戻ったときに生かせるよう日々勉強しています。これから何もできない私を採

用して下さった会社に恩返しできるよう頑張り、社会に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思ひます。

しかし、やはり大学生から社会人になると今までとは全く違う毎日で辛いことや悲しい事もあります。そんな時の心の支えは、大学時代にできた仲間です。それは同じ学年だけでなく後輩達も本当に大きな支えになっています。私の唯一の息抜きは休日の土曜日と日曜日です。そんな休日は大学のときにできた仲間と会い遊んでいます。先日も大学に行き大切な後輩達と一緒にソフトバレーをしました。大学を卒業したのに大学に行っても相手をしてくれる仲間が私は大好きです。そしてこんなあたたかい仲間に出逢えたことに本当に感謝しています。私は、四国学院大学に入学し心からたいせつな仲間に出逢えてよかったと感じています。これからも大変なことがたくさん待ち受けていると思ひますが仲間を思い出し頑張っていきたいと思ひています。この場をおかりして支えてくれている仲間にあーとう。」

「大学での出会いを通して…」 菅田 誠士さん 2010年度社会福祉学科卒業

私は2011年3月に社会福祉学部社会福祉学科を卒業し、現在は観音寺市内の病院で医療福祉相談員(医療ソーシャルワーカー)として働いています。

病院では、患者様や、そのご家族はもちろん、患者様が今まで関わってきた方々や、今後関わっていく方々、医師や看護師やリハビリ等の院内スタッフ。本当にたくさんの人たちと関わりを持ちながら、患者様の問題を少しでも解決できるようお手伝いをさせてもらっています。

実際に一年働いてみて、まだまだ、自分の力不足で、「もっといい支援が出来たのではないかと反省することは多々ありますが、たくさんのお出会いがあり、患者様の人数分だけある、いろいろなケースに対応していく中で、自分が相談員として、一人の人間として、成長できていることにとても充実感を感じています。

今思えば、四国学院大学での4年間がこの仕事を行う上での基

礎になっているなど実感することが最近よくあります。

大学での講義やゼミ活動、サークル活動等様々な経験の中で大学生活は、私にとって、福祉に関する制度や法律、歴史等の専門的な知識を学ぶところでもありましたが、それ以上に社会に出る上で必要なマナーや、対人関係の作り方、協力することの大切さについて学ぶことができるところでした。そして、その経験が、患者様と関わる際、他職種と連携を行う際に、ふと活かされていると感じます。

けてまじめな大学生ではありませんでしたが、大学でのたくさんのお出会いが私を成長させてくれ、その経験が今の職場での新たな出会いに活かしているように思ひます。

これからも一つ一つの出会いを大切に、少しずつ前に進んで行きたいです。

四国学院同窓生支援制度についてのご案内

四国学院大学のご理解とご支援により、同窓生への支援制度が充実しました。

四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度

内容

四国学院同窓生本人、同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫が入学する場合、入学金を全額免除する。

貞丸 昭則さん 1985年度教育学科卒業

2012年3月31日、紫苑寮に入寮する娘を送って来た私は、久しぶりに四国学院大学のキャンパスに立った。学内には、私が在学していた頃の面影が残っているものの、「近代的になったな。」という印象が強かった。

1982年4月、私は教育学科に入学し、4年間学んだ。その間、善通寺の町の温もりと大麻山の麓に広がる自然の豊かさを感じながら、学生生活を送ることができた。当時、私を指導してくださった諸先生方をはじめ、先輩、後輩、同級生との出会いは、今でもかけがえのない思い出として、私の心の中に残っている。

昨年度、娘が人文学科を受験した。進学先を選ぶ娘に、「四国学院大学を受験してみればどうだ。」と勧めたのは私だった。毎年、大学から送られてくる案内パンフレットを見ながら、四国学院大学の教育課程に興味を持っていたからだ。受験後、運よく合格した娘のもとに、

合格通知と一緒に「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支度支援制度」についてのご案内をいただき、利用させていただくことにした。正直、親子で同じ大学に行くとは考えてもみなかったが、この制度があったおかげで実現したといっても過言ではない。不思議な縁を感じるとともに四国学院大学との“絆”を感じることができた。そして、私が四国学院大学や善通寺の町に愛着を持っているように、娘もこの4年間の大学生活を通して、かけがえのない出会いや体験をしてほしいという親としての願いもあった。

5月の連休に帰省した娘が、「私、四国学院大学に進学して良かった。」と話してくれた。何が気に入ったのかは良く分からなかったが、娘なりに何かを感じ取ることができたのだろう。親として、この言葉ほど嬉しいものはない。

このような機会を与えていただいた四国学院同窓会関係者各位の皆様、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度

時代の変化とともに、社会福祉関係等に新しい資格ができたり、卒業までに必要な単位が取得できず、教員免許資格がとれなかった方、また最近では、1年間の履修単位が制限され複数の資格取得が困難になり心残りの方。資格取得の為だけではなく、教養を身に付けたい同窓生を応援します。

内容

四国基督教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学大学院を卒業した者で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、下記のとおり免除および減額します。ただし、四国学院大学大学院生として在籍している者は、対象から除く。

- ①学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000円免除)
- ②学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する(1単位5,000円減額)
- ③学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する(1単位5,000円減額)

介護福祉士を取得したい方へ

四国学院大学を卒業後、四国学院大学専門学校(旧:瀬戸内総合学院)に入学することで、介護福祉士の資格が取得できる制度が2011年度より導入されました。

①学びの特徴

2013年に入学し、2015年3月までに卒業する方は、卒業と同時に介護福祉士の国家資格が得られます。その後は、国家試験の受験資格になります。

②学費支援

本学卒業生は、入学金が免除になります。

③奨学金制度

香川県では、卒業後1年以内に香川県で介護業務に5年間従事すると最大160万円の返済が免除となります。

入学金免除に関する問合せは、「四国学院同窓会」まで
願書・入学等に関する問合せは、「四国学院大学専門学校 0120-725-192」まで

四国学院同窓会終身会費納入についてのごお願い 同窓会会長 牧本 憲尚

同窓生の皆様におかれましては、同窓会活動にご理解とご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。2012年度は学院創立63周年にあたり卒業生数は20,689名を数えます。同窓生のご子弟やお孫さんも入学されるようになり、ますます歴史を重ねております。

同窓会活動運営費は、現在の卒業年次生からの終身会費で賄われていますが、学生数の減少による収入減、反対に毎年増加する同窓生数により、同窓会財政が大変厳しい状況になってきております。同窓会本部では、このような状況のなか会費の値上げ等も検討してきましたが、過去の同窓会会費徴収について調べてみますと、1990年度以前に卒業された方は、年会費として卒業年度に10年分を納めていただくシステムでした。1981年度卒業までは年会費500円、1982～1990年度卒業は年会費1,000円でした。会費満了者に対して、卒業後は、同窓会会費の請求は一切致してしておらず、今後の同窓会活動を考慮して、対象者となられる同窓生約9,800人に、会費納入のお願いをしようということになりました。

つきましては、今回、ご協力をお願いしたい方は、1990年度以前の卒業生と1991年度以降の卒業生で終身会費を納めておられない方にあります。詳しくは以下のとおりでございますが、同窓生お一人お一人のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

対象者	納付額	納付方法
1990年度以前卒業生	25,000円(終身会費)	同封の「振込取扱票」にて
1991年度以降卒業生で会費未納者	30,000円(入会金5,000円、終身会費25,000円)	郵便局にある「振込取扱票」にて

【お問合せ】「四国学院同窓会」 【振替先】口座記号:1660-5 口座番号:38616 加入者名:四国学院同窓会
 ※「振込取扱票」に、卒業年度、学科、旧姓もお書き添えください ※納入が重複した場合を除き一旦納入した会費は原則として返金できません。寄付金の扱いとさせていただきます ※納入がされない場合は各種同窓生支援制度等の対象となりません ※卒業時、会費延納願いを提出の方にも連絡をさせていただいておりますのでご了承ください ※1990年度以前の卒業生ですでに納入されている方は「振込取扱票」は同封してありません

卒業証明書等発行手続きについて

同窓生に関する各種証明書発行手続きは、四国学院同窓会事務局が窓口です。2012年度夏期休暇中(8月10日～15日)は発行停止となります。就職や進学等で必要な方は、日数に余裕をもって申請してください。詳しくは、四国学院同窓会ホームページをご覧ください。

<申請に必要なもの>

- ①申請書<ホームページからダウンロードできます>
(氏名・卒業年度・学科・生年月日・連絡先(携帯番号)・送り先住所・必要な証明書と部数)
- ②本人が確認できるもの<健康保険証か運転免許証のコピー>
- ③手数料<証明書作成料&郵送料(特定記録または特定記録速達料金)>

【お問合せ・申請先】「四国学院同窓会」

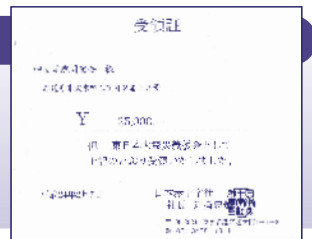
住所変更届け

支部総会や四国学院大学の催し案内等をお送りしていますが、「転居先不明」で郵便物が同窓会に返送されてくる悲しいことになりませんように、あなたご自身で変更届けをしてください。

【届出先】「四国学院同窓会」

東日本大震災義援金にご賛同ありがとうございました

最も被害が大きかった福島、岩手、宮城、茨城県に、約40名の同窓生の住所があります。昨年7月の「ロゴスだより」お届けから9月30日までの短期間ではありましたが、同窓生から25,000円をお寄せいただきました。皆様のお気持ちは、日本赤十字社を介しお届けいたしましたので報告をさせていただきます。



同窓生の皆様へ

四国学院同窓会 会長 牧本 憲尚

同窓生の皆様方におかれましては、日頃から四国学院同窓会活動にご支援を賜りまして誠に有難う御座います。また、同窓会事業として2010年度から『四国学院大学学生課外活動支援基金』を創設し、皆様からの温かいご支援、ご協力を頂いてまいりました。深く感謝すると共に御礼申し上げます。

さて、この度、税制改正(寄付者への税額控除)に伴い、四国学院大学が新しい募金事業として『四国学院大学課外活動特定寄付金』を新たにスタートさせることになりました。この事業は、四国学院大学が指定する団体の全国大会への出場に伴う遠征の支援などに使われる基金です。これに呼応して同窓会活動で実施してきました従来の『四国学院大学学生課外活動支援基金』を発展的に解消し、四国学院大学の新しい募金事業に移行することを役員会にて確認、承認いたしました。四国学院大学の新しい募金制度に関しましては2013年4月に文部科学省に申請される由、その後、ロゴスだより等にて制度に関してご説明させて頂くことを検討しています。なお、従来の基金につきましては、今までに10万6千円が同窓会に寄せられております。この金額に関しては、四国学院大学に寄付させていただく予定で考えております。

以上、雑駁では御座いますがご報告させていただきます。

季節の変わり目、同窓生の皆様方には御自愛專一にお過し頂きますようお願い致します。

welcome!

19日(金)前夜祭 10月20日(土)・21日(日)は 四国学院大学へ行こう!!

大学祭実行委員 代表 宮武 将大 (社会福祉学部3年)

2012年4月、従来の学生自治会を再編成し『四国学院大学ステューデント会議』が発足しました。

事業目的別に、委員会を設けていますが、今年からプロジェクト委員会による大学祭実行委員が中心となり、四国学院大学祭を盛り上げます。

これまでとは全てが一変し、学生、教職員、同窓会による協同参画のもと、学生、大学地域が交わる祝祭空間を演出し、新しいキャンパスコミュニティの創造を目指します。メジャー制度の活用や参加型ワークショップ等、学生活動を活性化する企画を開催しますので、沢山の同窓生にご参加をいただき、一緒に大学祭を盛り上げていただくと大変嬉しく思います。心よりお待ちしております。

詳しくは、決定次第、大学のホームページに載せますのでご覧になってください。

同窓会本部の参加企画 写真展示

四国学院創立時代からを振り返ります。

校内の風景や何気に撮られた学生生活の様子等、タイムスリップしてみませんか？

開催

10月20日(土)・
21日(日)

会場

ロゴス館内
(お茶で一息)



大学に写真が保管されていますが“これは何の時の?”と当時を知ることが出来ないものもあります。足をお運びいただき、コメントを残していただければ幸いです。

ご協力をお願いします

同窓会事務局では、大学の歴史を残そうと写真や印刷物を集めています。大切な写真等はデータ化して現物はお返しいたします。データをメールで送っていただいても構いません。大学祭に間に合うものは展示をさせていただきますが、大学祭終了後も、収集は継続しますのでよろしくお願いいたします。



1961年10月28日 第一回大学祭。自由演劇、コーラス・ESSの英語劇が開催される。仮装行列の市中行進によって市民と交流をしました。

☆大学祭に参加する団体募集☆

一緒に大学祭を創ってください

サークル・ゼミ・学科・有志等OB会で、出店・展示・演舞等してみませんか？

場所・備品はプロジェクト委員会と調整をさせていただきます。

【お問合せ・申込先】「四国学院同窓会」 【申込締切】8月31日(金)

ノーススタジオ公演情報

公演名	概要	日程
青年団「銀河鉄道の夜」	「銀河ステーション。」星祭りの夜、1人寂しく夜空を見上げるカンパネララの耳に突如響く車掌の声。見るとそこには親友ジョパンニの姿も。宮沢賢治が描いた美しい夜空を完全再現。果たして2人の行き着く先は—。	12/4(火) 12/5(水)
SARP Vol.4	四国学院大学・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(通称SARP/サーブ)とは、四国学院大学の身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーが主体となって制作する公演の名称です。毎回、プロの演出家・振付家が大学内の宿泊施設に1ヶ月以上滞在し、学生キャスト・スタッフとともに一般観客の鑑賞に耐えうるレベルの高い舞台作品を創作し上演することを目指しています。	未定

<チケット取り扱い・お問い合わせ> 四国学院大学企画課 TEL:0877-62-2208 FAX:0877-63-5353 E-mail:kikaku@sg-u.ac.jp

オープンキャンパス

7/21 11:00~16:00
sat

8/25 11:00~16:00
sat

9/15 11:00~16:00
sat

無料送迎バスルート 要予約

※3日前までにご予約ください、
詳細は予約時にお知らせいたします。



香川県内Aルート	ことでん瓦町駅→JR高松駅→JR坂出駅→JR丸亀駅
香川県内Bルート	JR志度駅→JR屋島駅→ことでん高田駅→ことでん学園通り駅→ことでん滝宮駅→JR琴平駅
東予西讃ルート	JR新居浜駅→JR伊予三島駅→JR川之江駅→JR観音寺駅→JR高瀬駅
高知ルート	JR高知駅
岡山ルート	JR岡山駅→JR倉敷駅→JR児島駅
徳島ルート	JR徳島駅→JR穴吹駅→JR辻駅

オープンキャンパスや入試に関するお問い合わせ・資料請求は

四国学院大学入試課

通話料無料

0120-459-433

E-mail info@sg-u.ac.jp

HP http://www.sg-u.ac.jp

TEL0877-62-3964(入試課直通)



オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。

ご求人をお願い

新聞報道でもありますとおり、4年ぶりに今春の卒業就職率が改善し93.6%となりました。本学の就職決定率も93.8%と若干ながら全国平均を上回っております。

しかしながら依然として就職活動で苦戦している学生も多いのが現状です。後輩たちをバックアップする意味でも、皆様のお勤めの事業所におかれまして採用計画がございましたら是非とも求人票を賜りたく存じます。

ご求人の方には、本学ホームページより求人票をダウンロードしてご提供いただければ幸いです。もちろん、御事業所で作成されました求人票を同窓会宛にご郵送いただいても結構です。

求人票ダウンロードの方法

本学ホームページ(<http://www.sg-u.ac.jp/>)へ
アクセスいただき、トップページの「企業の方へ」をクリックして下さい。
本学書式「求人票」用紙がダウンロードできますので、
郵送、FAX、eメールにてご送信願います。

※「求人票」用紙をご希望の場合は同窓会事務局までご連絡下さい。

ログス館(同窓会館)館内のご案内

同窓会の会場やご家族、
ご友人との旅行の宿としても
ご利用いただけます。

[お問合せ・申込先]

四国学院同窓会

※ホームページからお申込みが
できます。



全景



ホール(約40席)



2階 洋室(6人、10人用各1室)
1人1,200円/1泊 シャワー共用



2階 和室(8人程度用2室)
1人1,200円/1泊 シャワー共用



3階 個室(4室) 1室3,000円/1泊
お風呂・トイレ付(タオル・浴衣有)



3階 和室(4人用2室) 1室7,500円/1泊
お風呂・トイレ付(タオル・浴衣有)

編集後記

今号も最後まで読んで頂きましてありがとうございます。栄えある「日展」に入賞された六車るみ子さんを始め、社会人として奮闘される多くの卒業生の方々のお便りに励まされました。皆様、久々に母校キャンパスを訪問してみませんか？
10/20大学祭には、ログス同窓会館へお立寄り下さい。(お茶の準備もしております)

会報委員 飛田 由香(1983年度 英語科卒業)



発行日/2012年6月 発行者/四国学院同窓会

〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号

TEL 0877-62-5500 (直通) FAX 0877-63-4599



0120-459500

e-mail rogosu@sg-u.ac.jp